おはようございます。

今日は特に3年生に向けて話をします。しかし1，2年生の人にも当てはまることなので、皆さんしっかり聞いてください。

皆さんは有名な野球選手で落合博満という人を知っているでしょうか？当然知っていると思ったのですが、落合が中日の監督をしたのは2004年からの8年間。よく考えたら知らない人が多いでしょうね。

とにかく名選手だった落合が中日の監督になって、まず驚いたのは、就任の時にはっきり「今年、優勝する」と記者会見で断言したことです。ざわつく記者たちに落合は「驚くことはない、プロである以上、選手はみんな素晴らしい素質をもっている。ただ練習してないからそれを伸ばせていないだけだ。中日の選手みんながあと10%ずつ力を伸ばしてくれたら、すごい力になって必ず優勝する。」と言ったのです。落合ファンの私も「大きく出すぎやで、優勝できひんかったらどうするん？」と思ったものでした。しかしその年、猛練習で鍛え上げられた中日は本当に優勝したのです。就任1年目に優勝した監督は他にもいますが、「優勝を目指す」ではなく、「優勝する」と言った監督は恐らく落合だけかも知れません。

そしてこのことは3年生にも当てはまると思うのです。私も入らせてもらいましたが、三者懇に先立ち、7月12，13日に進路に関する会議を3年生の先生方が熱心にされていました。一人ひとり进行分析し、その中で「あと少しでこの希望通りで頑張れと言ってやれるのに」「あと少し頑張らないとこの子は危ないなあ」という人たちがたくさんいることに気づきました。本当にあと少し、落合流に言えば、あと10%ずつ教科の力を高めたら随分変わる人が多いことがわかりました。「10%ぐらい…」とバカにする人もいるかも知れませんが、それが全教科になると大きな力を生みます。そして大事なことは10%と頑張って続けるとそれが12%になり、15%になってくるものなのです。30%、50%と言われると大変かもしれませんが、10%なら目指せるかも知れませんよね。50点を55点にしていけばいいのですから。特に3年生の人たちにはぜひ取り組んでみてほしいと思っています。

それでは、昨年はわずか9日間でしたが、今年は32日間分の時間が皆さんに平等に与えられました。その時間をどう使うかは皆さん次第です。実はそれほど強迫観念にとらわれなくても、少しずつやることをやっていたら今の時代、課題も十分終わります。夏休みしかできないことをやってみたり、家のお手伝いも少しはやってくださいね。そして安全に留意し、命を大切にしてください。2学期始業式、また元気な顔で会いましょう。

以上です。